たんちょう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.103
2016.4

JAくしろ丹頂

乳牛改良同志会新役員決定 !!

（後列）清水理事、菱沼監事、大坂監事、伊深理事
（前列）林 副会長、瀧澤会長、植田副会長、松田理事

C O N T E N T S

- 酪農振興会「酪農祭」 — 1
- 釧路丹頂農協女性部通常総会 — 2
- 釧路丹頂農協青年部通常総会 — 3
- 釧路丹頂農協乳牛改良同志会定期総会 / 酪農セミナー — 4
- チャレンジ60「946運動」酪農シンポジウム 釧路丹頂農協青年部音白支部 牛乳消費拡大運動 — 5
- 新採用職員の紹介 / 新採用職員研修 / 役員報酬審議会 — 6
- 第28回ＪＡ北海道大会「パネリストからの提言」 — 7
- 理事会報告 / 生乳生産実績 — 8
- 普及センターだより — 9

酪農セミナー（3月9日 鶴居村総合センター）

酪農振興会「酪農祭」開催

～講演会を実施「乳牛の繁殖管理について」石井三都夫講師～

二月十八日、鶴居村総合センターで当ＪＡ酪農振興会主催の「酪農祭」が開催されました。

組合員及び関係者、計五十九名が参加し、㈱石井獣医サポートサービス代表取締役 石井三都夫氏を講師に迎え、「乳牛の繁殖管理について」と題し講演が行なわれました。

繁殖障害の経済的損失、繁殖成績の目標、妊娠率、発情発見率等について説明されました。

今年度より新たな事業として、良質乳出荷農場表彰式が行なわれ、平成二十七年一月から十二月出荷乳量に対する体細胞数・生菌数が優秀な下記の6農場が表彰されました。

良質乳出荷農場表彰

○表彰農場

（体細胞の部）

最優秀賞	鶴居	（合）橋村農場
優秀賞	音別	筥崎昌行農場
優秀賞	幌呂	明歩谷正志農場

（生菌の部）

最優秀賞	音別	大和田清一農場
優秀賞	幌呂	明歩谷正志農場
優秀賞	白糠	高原好幸農場

明歩谷さん　橋村さん　高原さん
（對木専務）　（折笠会長）（五十嵐副会長）

釧路丹頂農協女性部 通常総会

～女性部の一層の団結を目指して～

三月十六日、本所で第十回釧路丹頂農協女性部通常総会が開催されました。

開催にあたり、出席者全員でＪＡ女性組織綱領を朗唱しました。

吉田鈴子部長は、「この時期になると思い出されるのが、五年前の東北地方太平洋沖地震の被害です。酪農経営も先行き不安な部分は多々ありますが、女性部員・フレッシュミズの皆さんにおかれましても経営、仕事、家庭に対してまた一年間、地道にコツコツと頑張って頂きたい。」と挨拶しました。

細野利奈議長（中央）

議長は、幌呂支部の細野利奈さんが務め、平成二十七年度事業報告並びに収支決算、平成二十八年度事業計画等について協議し議事は全件承認され、総会は盛会裡に終了しました。

ＪＡ女性組織綱領朗唱

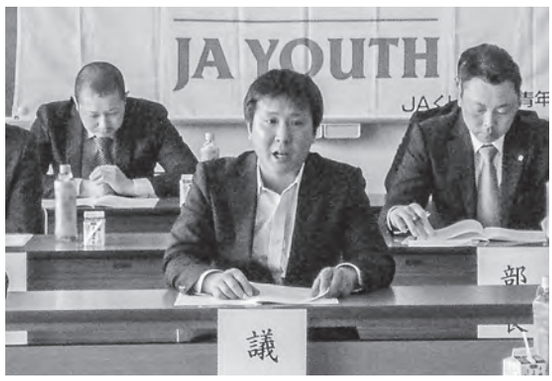
釧路丹頂農協青年部 通常総会

～農業の魅力と重要性を発信し、より活気に満ちた青年部を目指して～

三月十七日、本所で第十回釧路丹頂農協青年部通常総会が開催されました。

開催にあたり、出席者全員でＪＡ青年組織綱領を朗唱しました。

石黒隆行部長は、「現在の酪農情勢は、ＴＰＰ等厳しい情勢ではありますが、青年部としては、現状を見極めながら取り組んで参りたい。平成二十七年度の事業では、七回目となる乳製品消費拡大運動を実施し、美味しいという声を頂き、生産者と消費者が顔を合わせる事の大切さを強く感じております。今後も部員とともに命の大切さや農業の魅力を伝えていきたい。」と挨拶しました。



伊深洋平議長（中央）

議長は、音白支部の伊深洋平さんが務め、平成二十七年度事業報告並びに収支決算、平成二十八年度事業計画等について協議し議事は全件承認され、総会は盛会裡に終了しました。

ＪＡ青年組織綱領朗唱

釧路丹頂農協乳牛改良同志会 定期総会

～牛づくり・飼養管理技術の更なる向上を目指して～

對木賢雅議長（中央）

乳牛改良同志会新役員

会　長	瀧澤　一成	鶴居
副会長	林　　稔幸	西部
〃	植田　紘史	鶴居
理　事	清水　武志	鶴居
〃	松田　浩二	西部
〃	伊深　洋平	西部
監　事	菱沼　拓郎	鶴居
〃	大坂　隼人	西部

三月十七日、本所で第十回釧路丹頂農協乳牛改良同志会定期総会が開催されました。

開会にあたり、瀧澤一成会長が挨拶し、「当会は発足十年目を迎え、現在の同志会の良い雰囲気を若い世代へ引き継ぎ、さらに気持ちを一つに切磋琢磨して参りたい。酪農は先行き不透明ですが、釧路から酪農がなくなる事はなく、足腰の強い酪農を目指し、牛作り、飼養管理技術の向上に取り組んで参りたい。」と述べました。

議長は、音白支部の對木賢雅さんが務め、平成二十七年度事業報告並びに収支決算、平成二十八年度事業計画、役員改選等について協議し議案は全件承認され、総会は盛会裡に終了しました。

釧路管内酪農セミナー 開催

三月九日、鶴居村総合センターで釧路管内酪農セミナーが開催され管内の酪農関係者92名が参加しました。

㈱トータルハードマネージメントサービス 獣医学博士 黒崎尚敏氏により「周産期疾病を減らす管理と哺育・育成」及び㈱トータルハードカーフサービス 代表 佐竹直紀氏により「獣医師の始めた哺育預託牧場その戦略と課題」をテーマにそれぞれ講演されました。

チャレンジ60「946運動」酪農シンポジウム

～「9」草づくり「4」飼養管理向上「6」労働力・担い手確保の強化へ向けて～

三月十八日、釧路で、チャレンジ60「９４６運動」酪農シンポジウムが開催され、管内の酪農家及び各関係機関から１２８名が参加しました。

きくち酪農コンサルティング㈱代表 菊地 実氏により「酪農現場で活用できる適期刈取り、乾乳期管理のポイント」と題し、今までの酪農経営とこれからの酪農経営、酪農産業の方向性、労働生産性、疾病のコントロール等について講演されました。

北海道農業公社 就農コーディネーター 中野長三郎氏は「就農・就業者の確保に向けて地域に求められること」と題し、農業の担い手の状況、就農へのプロセス、新規就農者の経営状況、新規参入者の受入支援体制事例等について説明されました。

青年部音白支部 牛乳消費拡大運動 実施!!

～道東自動車道「庶路ＩＣ」開通記念イベントにて～

三月十九日から二十一日の三日間、白糠町・道の駅「恋問」駐車場で、道東自動車道庶路ＩＣ開通記念イベント「よってこ！しらぬか 道の駅恋問館へＧＯ!!」が開催されました。会場は、多くの来場者で賑わい、ステージイベントやアトラクションなど様々な催しが行なわれました。

青年部音白支部は、「根釧牛乳」約二千杯分のホットミルクを無料配布し、来場者をおもてなすとともに大変美味しいと好評でした。

新採用職員の紹介

おお　の　か　おり
大　野　夏　織

■所属部署／幌呂支所　家畜改良課　家畜改良係
■年　　齢／ 22歳
■出 身 地／神奈川県　茅ヶ崎市
■出 身 校／酪農学園大学（H28年卒）
■趣　　味／牛グッズを集めること
■特　　技／ピアノ

■組合員の皆さんへ一言
家畜人工授精師として働かせて頂ける事に嬉しい気持ちでいっぱいです。不安もありますが、牛が大好きな気持ちとやる気は人一倍あると思っています。ご迷惑をおかけする事もあると思いますが、一生懸命頑張っていきますので、ご指導の程、よろしくお願い致します。

やま　もと　しょう　へい
山　本　将　平

■所属部署／白糠支所　購買課　資材係
■年　　齢／ 21歳
■出 身 地／帯広市
■出 身 校／ＪＡカレッジ（H28年卒）
■趣　　味／映画鑑賞
■特　　技／卓球、マラソン

■組合員の皆さんへ一言
最初は慣れない事ばかりですが、少しでも早く仕事を覚えられる様明るく、元気に努力して参りたいと思います。組合員の皆様よろしくお願い致します。

新採用職員研修を実施

四月一日、本所で、今回採用となった二名の採用辞令交付が行なわれました。晴れて社会人一日目を迎えた二名に対し、辞令交付後に研修を実施し、「当ＪＡの概要・組合員とは何か、ＪＡ事業」等について学びました。

研修の様子

役員報酬審議会　開催

四月五日、本所で役員報酬審議会が開催されました。

武藤組合長から役員報酬審議会の委員七名に委嘱状が渡され、平成二十八年度役員報酬に関する諮問について協議されました。

第28回JA北海道大会「パネリストからの提言」

～第28回JA北海道大会 パネルディスカッション～
美しい農村景観の意味と価値
加工食品の材料にも北海道産

作家・エッセイスト　森　久美子 氏

JA北海道大会で開催したパネルディスカッションでパネリストの皆さんから提言頂きました「北海道農業とJAグループに期待すること」をシリーズで紹介します。

森（もり）　久美子（くみこ）　氏
作家・エッセイスト
農林水産省・食料・農業・農村政策審議会臨時委員／北海道農業・農村審議会委員

第3回は、森久美子氏の提言を紹介します。

美しい農村景観を守るため輪作体系の教育を

景観について考える気持ちをお話ししたい。以前、写真で見た美瑛町の農村景観にびっくりした。この美しさは農業があるからこそだと気づいた。東京に住んでいたころ、実家から届いた北海道の野菜をおすそ分けをすると、食べてみないうちに「北海道のでしょ、おいしいんだよね」と必ず言われた。その時、同時に農村景観の美しさや清涼な空気、広大な土地をイメージして買っていると思った。札幌市民あるいは道民は、当たり前すぎて、農業生産が行われているからこその風景だというありがたみが欠けている。

「いつまでもあると思うなこの景観」というのは、半分は冗談に聞こえるかもしれないが、かなり本気で思っている。農業が継続されないと、この景観を失い観光客も来なくなり、経済でも北海道は行き詰る。それではどうすれば良いのか。食農教育の分野で、みなさん個人個人は頑張って頂いており、農作業のご苦労や、なぜおいしいのかという話はされるが、案外、輪作体系を教えている機会はほとんどないのではないか。

去年と同じ農村景観を撮ろうと思って行ったら、なぜか色が違う。輪作があるからだよと都会の人たちにも教えて頂きたい。JAの力であればできるのではないかと思っている。

消費者に選ばれる北海道産入りの加工食品

単身者の世帯数が全国平均で戸数として3割以上ある。生鮮食品に使う食料費が非常に少なくなっており、外食、外食以外の中食、調理済み食品に食料支出の44％を使っているのが2013年度の統計に出ている。加工食品を食べている人たちが、どれだけ日本のものや道産のものを意識してくださるかが非常に重要。

JAグループが一丸となって、「北海道産を使っているカップ麺」、とか表示なり宣伝文句をつけて、その分、仮に外国産の材料より10円高くても買う、という消費者を増やしていかなければならない。

北海道の目指す農業、農村の姿ということで、550万人と共にということは大変すばらしい。実現できるよう、私たちも消費者の一人でもあるので力になれたらと思っている。力強いだけでなく、今まで農業を続けられたご年配の方たちが、「自分の人生はこれで良かった」と思うような農村を作ってほしい。力強い農業・農村には、そのことも含んでいることを意識して頂きたい。Aコープの買い物支援も含めて地域の人たちを守る、地味だけどJAだからできることをぜひ忘れないでやって頂きたい。

最後に一言

再生産できる価格で買って頂いて農業が続けられ、農村を守るために補助金を出してもらう。国民のコンセンサスを得られるための啓蒙活動をして頂きたい。

JAグループを含め農家を守ることが、道民の健康や生活を守っていることを分かってもらうようにすることが、サポーターを育てるということだと思う。農業に対する理解がない人たちが誤解なく農業を理解してくださるようこれからも頑張って頂きたい。

理　事　会　報　告

3月定例理事会　平成28年3月28日（月）

報告事項

1．専決事項及び諸会議について
2．各委員会・諸会議等について
3．2月末（決算）財務状況について
4．自己査定結果について
5．事業の実施処理状況について
6．経営定期点検の実施結果について
7．平成27年度内部監査の業務活動報告について
8．平成27年度事業報告及び決算概要について
9．内部統制（コンプライアンス・プログラム含む。）及びリスク管理に係る取組状況について
10．畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械リース事業）の取扱いについて

付議事項

議案第１号　平成28度（第11年度）事業計画の設定について
議案第２号　平成28年度諸利率・料率の設定について
議案第３号　貸付金の利率の最高限度について
議案第４号　定款の一部変更について
議案第５号　（附属書）役員選任規程の一部変更について
議案第６号　規約の一部変更について
議案第７号　信用事業規程の一部変更について
議案第８号　第10回通常総会の招集および提出議案について
議案第９号　議決権行使書面の取扱いについて
議案第10号　信用の供与等の最高限度額設定について
議案第11号　理事に対する資金の貸付について
議案第12号　役員と組合との取引基準の決定について
議案第13号　当座貸越（クミカン口及び総合口座Ⅱ型）の利率の改定について
議案第14号　融資の承認について
議案第15号　特定組合員に係る特別運用基準の対象組合員について
議案第16号　平成28年度の余裕金運用について
議案第17号　平成28年度コンプライアンス・プログラムの設定について
議案第18号　役員報酬審議会の設置について

※以上全件原案通り承認されました。

その他協議事項

1．春季地区別懇談会の開催について
2．当面の業務日程について

■平成27年度　生乳生産実績（3月）

	月計乳量（kg）	3月前年比(%)	累計乳量（kg）	累計前年比(%)
釧路丹頂農協	8,850,717.3	104.0	102,230,914.6	104.3
（鶴居地区）	2,934,915.6	101.5	34,775,167.5	105.3
（幌呂地区）	2,396,803.7	107.6	26,910,463.1	104.1
（白糠地区）	1,856,732.5	102.8	21,529,138.7	103.1
（音別地区）	1,662,265.5	105.2	19,016,145.3	104.3
管内計	45,868,988.2	104.0	533,896,149.0	103.0
（前年度管内計）	44,084,604.1		518,488,862.9	

編集後記
EDITOR'S NOTE

□「活字離れ」という言葉をよく聞きます。新聞や書籍など紙に印刷された文字媒体の利用率が低下し、インターネットやブログ、Eメールなど「デジタル活字」の普及により、活字を通した多様な文化形成が進んでいるという見方があります。活字離れにも活字を読む側と発信する側で意味合いも大きく変わるようで、狭い意味と広い意味での議論があるようです。この広報誌の作成にあたっても無関係ではなく考えさせられます。

繁殖成績改善のために②

二〇一五年八月に掲載した「繁殖成績改善のために」では、①初回授精開始日数の早期化、②繁殖管理作業の確実な実施、③繁殖管理作業のルール化、④分娩前後の綿密な栄養管理による健康状態の維持、が必要だと報告しました。

今回は、初回授精開始日数の早期化（釧路管内の現状は八八日）とそれに伴う発情観察・発見について考えてみましょう。

一　初回授精開始日数と繁殖検診について

牛群の平均分娩間隔の目標値は飼養状態によって異なりますが十三ヵ月または四〇〇日以下を目標とすることが現実的と考えられます。

一般的に子宮や卵巣の回復が順調であれば初回発情は四五日以内にきます。分娩間隔の目標を十三ヵ月にすると授精開始日数は分娩後六〇日頃となりますが、それまで何もしなくて良いと言うわけではありません。初回発情日を記録し、その二一日後に発情兆候を集中的に観察することで、適期授精が可能となります（図1）。

また、分娩後四〇日以内に行うフレッシュチェックで子宮や卵巣機能の回復状況について検診を受けることも大変重要です。早期に異常がないか確認し必要な措置をとることで、空胎日数の短縮が図られ、分娩間隔を目標値に近づけることができます。

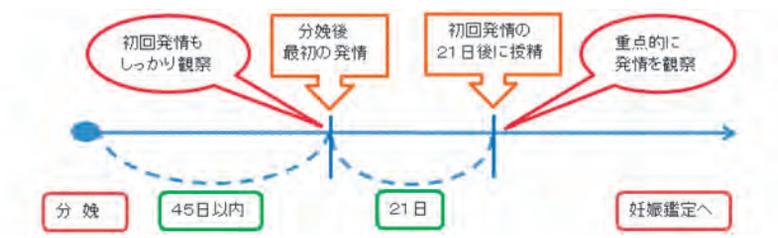


図1 初回発情の発見と適期授精

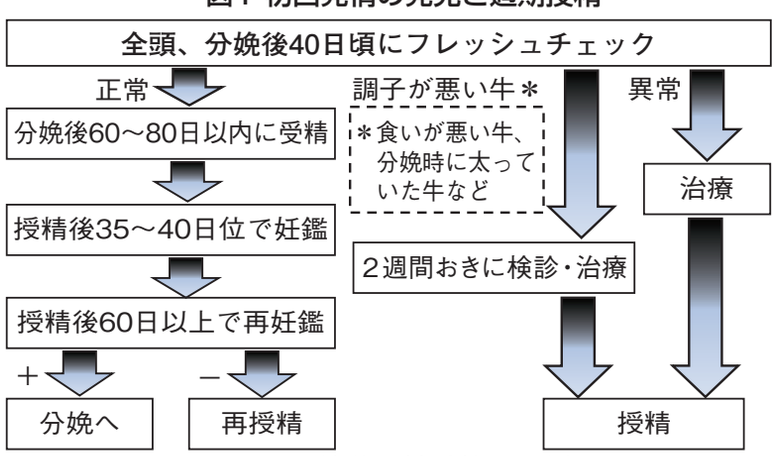


図２　分娩後の繁殖管理の例

●繁殖管理マニュアル化の事例（図2）

この農場では、繁殖管理の手法をマニュアルに沿って実践したことにより、常に一定した対応が迅速に実施できるようになりました。現在は空胎日数一二〇日前後、分娩間隔四〇〇日以下となっています。

表１　発情兆候が始まる時間帯（Cornel University）

時間	兆候を示す牛	時間	兆候を示す牛
AM6時～正午	22%	PM6時～深夜	25%
正午～ PM6時	10%	深夜～ AM6時	43%

二　発情観察・発見

乳牛が示す発情兆候を見逃さないことが重要です。特に深夜から早朝にかけての時間帯に多くの牛が兆候を示すのが分かります（表1）。作業時間を考慮すれば実際に観察を行う際は早朝に最も重点を置くことが効率的と考えられます。

●発情発見効率化の事例

この農場では、目視による発情観察と歩数計（写真1）のデータを併用することで、発情の見逃しが無くなり、適期に授精できる様になりました。

写真１　使用している歩数計

分娩前後の綿密な栄養管理による健康状態の維持などの事例については、またの機会にご紹介します。

（平成二十八年三月作成）